

学校 教育 目標	「わたしが、みんなが かがやく 矢向の森」 ○学ぶ楽しさを知り、自分の考えを深める子を育てます。(知) ○自分が好き、友達も大好きな、あたたかい子を育てます。(徳) ○心と体の健康を守り、自他の生命を大切にすることを育てます。(体) ○まちの人やものを大切に、共に生きる子を育てます。(公) ○様々な人と自分からすすんでコミュニケーションがとれる子を育てます。(開)					
	79 周年	学校長 沼田 留美子	副校長 西口 公恵	2 学期制	一般学級: 29	個別支援学級: 7
学校 概要	児童生徒数: 989 人		主な関係校: 矢向中学校 新鶴見小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	矢向中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<主体的に行動する力> ・考えを構築する力 ・多様な方法で考えを伝える力 ・協働的に学ぶ力 ・自分や他者のよさを認める力 ・やりきる力	矢向中学校 矢向小学校 新鶴見小学校	○輝く未来を切り拓く、たくましい子 ・学習指導要領に則り、小中一貫カリキュラムに向けた教育を実践します。 ・児童生徒指導についての研修会をもち、情報共有を深めます。 ・小中学校での合同行事を実施し、児童生徒の交流活動を促進します。 ・教科領域において小中合同研究協議を行います。

中期 取組 目標	○全教職員が育てたい子どもの姿を共有し、自立とチームワークを基盤としながら、主体的に学校経営に参画し「チーム矢向」として、チーム力を生かした「活力」「魅力」ある、「明日も楽しみになる」学校づくりを推進します。 ○基本的な学習内容と学び方の定着、学力向上に向け、授業改善を通して、授業力の向上を目指します。 ○人権尊重を基盤にした「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指し、人とのつながりから学び、自分も他人も大切にできる、他者の思いに寄り添う心情を学校全体で育みます。 ○家庭、地域、関係機関、公共施設など、まちや人、こととの交流、連携を深め、開かれた学校づくりを推進します。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きて働く知	①重点研「生活科・横浜の時間」を継続し、ひと、もの、ことを通じ「本気、本音、本物」から学ぶ、実感を持った学習を展開する。②「子ども」を活動の中心におき、主体的、探究的に学ぶ授業研究を行い、授業力の向上を図る。③子ども一人ひとりをみとり主体的な学びと矢向らしさを盛り込んだカリマネを推進する。
担当 カリマネ推進委・学力向上部	
徳 豊かな心	①あらゆる教育活動を通して人権尊重を基盤とした授業を行い、地域、家庭と連携しながら人権感覚や意識を高めていく。②まちや地域とのつながりを深めるため、地域行事への参加、学習材としてのかかわりを推進する。③個に寄り添った丁寧な児童理解、支援を通し安心して過ごせる学校づくりに努める。
担当 心育成部	
体 健やかな体	①ロング休みによる外遊びを奨励し基礎体力を向上させる。②体育科の授業を通し指導法を学び合い運動に取り組む態度や体力の向上を図る。③養護教諭、栄養教諭と連携し感染症の予防や安全に過ごすことやバランスよく食べることで丈夫な体づくりへの意識を高める。④清掃活動の充実を図り環境整備を推進する。
担当 体育部・健康体力安全部	
公 開 地域連携	①地域、矢向小サポーターズによる学習支援、ホテルの飼育観賞、地域の畑での野菜作り、防災教育、サイバー教室、キャリア教育など矢向だからこそ展開できる学習を深める。②80周年行事に向けて地域、学校と連携した企画運営、準備を進める。③学校運営協議会設置2年目として地域と学校のつながりを深める。
担当 特別支援Co.森の教室	
いじめへの対応	①全教職員がいじめ防止基本方針を共通理解し子どもをよく見る、様子がおかしいと感じたら声をかけるなどすぐに動く、事案が小さなうちに対応できるようにいじめ防止対策委員会のほかにも主任会、職員会議などを活用し情報共有する。②いじめ防止研修やアンケートを実施し、いじめを早期発見、解決に向けて動けるようにする。
担当 児童支援専任、心育成部	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①主幹教諭を中心に3部会を機能させ経験の浅い教員にも学校経営に携わる意識を高め人材育成を図る。②メンターチームは日頃の悩み事も出し合える安心した会とし中堅クラスの主任を中心に推進する。③会議の削減、授業時間の見直しを図り、事務処理の時間を捻出する。効率よく仕事ができるように環境整備を進める。
担当 教務部・事務部・メンター	
児童指導	①全教職員が「矢向小ガイドブック」を理解し軸のぶれない児童指導を行う。②キャッチした児童の課題や事案は学年主任、児童支援専任、管理職で迅速に共有し、SSW等関係機関と連携し早急に対応策を練り、初動の遅れがないように報連相を徹底する。③あいさつの大切さを伝えあいさつができる学校づくりを進める。
担当 児童支援専任、心育成部	
特別支援教育	①特別支援コーディネーター機能を生かした支援が必要な子どもへの具体的な対応について協議を進め一人ひとりにあった方法で対応する。②個別支援級での指導について理解する研修を実施しよりよい成長に向けた指導力を向上する。③コンサルを通し視覚支援など児童が自主的に活動できるような場の工夫を推進する。
担当 特別支援Co.児童支援専任	
安全管理	①市の防災資料などを活用し学校の実態、地域にあった訓練や防災教育を実施する。②地域防災訓練に参加し自助共助の学びを深める。③災害時の職員の動きを見直し改善を図り、命を守るための迅速かつ適切に行動できる管理能力を高める。
担当 防災安全部	
担当	